

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 708 号	氏名	上瀧 健二
学位審査委員	主 査	折口 智樹	
	副 査	高村 昇	
	副 査	東 登志夫	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、公害認定患者において大気汚染と喫煙習慣の呼吸機能・呼吸器症状に対する影響を明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 公害認定患者 730 名を閉塞性換気障害の有無、喫煙習慣の有無によって 4 群に分けて、呼吸機能検査、呼吸器症状の推移を統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、大気汚染が改善したあとでも閉塞性換気障害を有する公害認定患者の呼吸機能は低下し、呼吸器症状は増悪した。そして、これらの呼吸器障害は喫煙習慣が加わるとさらに悪化した。このことから、公害認定患者において禁煙教育の促進ならびに喫煙者の個別指導の必要性が明らかになった。 この成果は今後の公害認定患者の呼吸器障害に対する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は公害認定患者に対する呼吸器障害に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			